

放送日 平成30年9月3日（月）
担当者 学校給食センター 須貝 初穂

おはようございます、給食センターの須貝です。

今年のスピーチ割り当てが決まり、どんなネタにしようかと考えておりましたが私たちの身近な参考になると思える7月の体験談についてお話ししたいと思えます。

北海道教育委員会から、調査依頼メールが届き、開いた時点でまだ時間があつたので後回しとし、一時保存としておりました。…が、ご想像のとおりすっかり忘れてしまいました。頭の隅には記憶していたつもりだったのですが…。そんな折、なんとタイミングが良いことか、担当者から締め切りを過ぎてまだ報告がないと、提出確認の電話が入りました。

正直に忘れていたことを詫び、メールの配信日の確認後、早急に対応する旨を告げ電話を切りました。しかしこの電話が、なんとも気怠そうで、木で鼻を括るような態度に感じたものですから、若干いらついてしまいました。

でも、早急に処理しなければと思い調査票の作成を始め、3分の2ほど出来上がったところで再び電話が鳴りました。同じ人物からで、出来ているのかいないのか、いつ提出できるのかと、先ほどと同じような口調で問われ、2日後には提出できると答えたけれど、その日の夕方頃には調査票を作り上げメール返信することができました。

普段はしませんが、この返信メールには控えめに職名を記載してみました。数日後、この人物から確認の連絡がありましたが、前回とはまるで違うとても丁寧で優しさを感じる言葉使いの電話でした。

もうお解りかと思いますが、肩書きで態度が変わる人物であったというのが、この話の落ちです。みなさんはどう思われますか？

私たちは、直接市民と接する機会が多く、このように木で鼻を括る様な態度は嚴重注意ものですよね。いつも言われているように、内外を問わず、常に市民目線で思いやりや優しさを持って仕事に取り組まなければならないことを忘れてはいないでしょうか。仕事は一人ではできません。人と人との触れ合いがあつてこそ仕事が成り立つのだと思います。平等に思いやりや優しさをもって、仕事に取り組まなければならないと改めて気づかされた人物との触れ合いを紹介させていただきました。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらし、親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

思いやりと優しさをもち、今日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年9月4日（火）

担当者 文化課 丸毛 直樹

おはようございます。文化課長の丸毛です。

今日は、私が在籍しております芸術文化ホールについて、お話し致します。

「花ホール」の愛称で親しまれております芸術文化ホールですが、今年で20周年を迎えることができました。

市民の皆様はもとより、札幌市や近隣の皆様にも多くのご利用を頂き、誠にありがとうございます。

私は芸術文化ホールの開設にも携わらせて頂いたこともあり、20年の重みを感じているところであります。この節目の年に、芸術文化ホールでは記念となる催しをいくつか開催しております。

その中の一つとして、当施設のギャラリーを活用しての記念事業を企画致しました。

「北広島に眠る秀作展」と題した展覧会であります。

過去20年の間に、北海道規模以上の展覧会等で各賞を受賞された、まさに市民の皆様が制作した優れた作品を、芸術文化ホールギャラリーにおいて展示させて頂く、これまでに無い試みの展覧会であります。

9月1日より市民の皆様にご案内致しまして、現在この「眠れる秀作」とも言える芸術作品を募集しているところであります。

是非、この機会に該当の作品をお持ちの方は、出展頂ければと存じます。

広く市民の皆様にご紹介させて頂くことで、芸術文化活動の振興に繋がればと考えております。

これからも、皆様に益々親しまれる花ホールとして、多彩な催しを提供させていただきます。

よろしくお願ひ致します。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年9月19日（水）
担当者 企画課 佐々木 貴啓

おはようございます。企画課の佐々木です。この度の台風 21 号及び北海道胆振東部地震により被災された方々に対しまして、心からお見舞い申し上げます。私も職員の一員として、復興業務に真摯に取り組んでまいります。

さて、そんな私の昨年からの変化に皆さんはお気づきでしょうか。そう、私痩せたのです。一時期は15キロほど痩せましたが、最近はやや戻ってしまいましたが、今でもピーク時より10キロほど痩せています。ただ、よく痩せたとは言われましたが、誰にも格好良くなったとは言われなかったのがショックであります。今後も私よりも私の身体に厳しい職場の諸先輩方の叱咤激励のもと、適正体重を目指し、努力してまいりたいと思います。

ところで、なぜ私がこのような話をしたかといいますと、昨年順調に痩せていったときの成功のポイントは、しっかりとした計画とそれを実行する意志にあったと思うからです。

職員の皆様には先週までに2019推進計画の策定をお願いしておりました。それぞれの課で働く皆さんの市をより良くしようという思いが盛り込まれた計画であると思いますので、査定作業に取り組む私も、その思いをしっかりとくみ取れるよう作業を進めてまいります。

査定の過程で厳しいお話をされるかもしれませんが、それぞれの思いをぶつけ、よりよい計画とするための作業ですから、何卒ご理解ください。

なお、私は基本的に皆様のところに伺うつもりですので、私が査定の話で来たときは、優しく迎えていただければと思います。よろしく願いいたします。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年9月20日（木）

担当者 企画課 熊谷 遼三

おはようございます。企画課の熊谷 遼三です。

私は、小学生のときからずっと卓球をしています。そのため、私の性格や考え方のほとんどが卓球で形成されてきたと感じております。努力した分だけ結果が付いてくるという考えや、日々の時間の使い方、チーム全体としての自分の立ち位置など、卓球を通して色々な勉強ができています。

その中でも一番大事にしたいことが、日々感謝の気持ちを忘れないようにすることです。卓球は、練習相手がいなければ絶対に上手になれないスポーツです。そのため、練習や試合を始めるときには、必ず相手に「お願いします」と一言言い、終わるときには「ありがとうございました」と言う卓球の世界での常識があります。

日々の業務においても、一人でできる仕事はないと思います。周りの方々の何かしら手助けがあるからこそ、遂行できる業務ばかりです。

消耗品一つ買う場合においても、税務課が計算した税金を市民が納め、財政課が査定した予算を、会計課を通して支出するという流れがあるように、沢山の職員の業務があり、初めて遂行することができます。

そのため、どこの部局に所属していたとしても、市全体としての自分の役割や立ち位置を常に考えながら、周りの方々への感謝の気持ちを忘れることなく、これからも業務を行って参りたいと思いますので、同じ部署の皆様、そして、他部署の皆様におかれましても、私から何かしらの相談や依頼があったときには、快く御対応をお願い致します。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年9月21日（金）
担当者 ボールパーク推進課 杉原 史惟

おはようございます。ボールパーク推進課の杉原です。

私が今携わっているボールパーク構想の推進は、「スポーツによるまちづくりの推進」と置き換えることができると思っています。スポーツの持つ力によって、健康増進、教育や福祉の充実、賑わいの創出、コミュニティの醸成など、あらゆる分野で地域課題の解決が図られ、まちづくりにつながるのではとの思いです。

しかし、日本では長年、スポーツ＝体育と捉えられてきたこともあって、スポーツは肉体と精神の鍛錬で、特別な人たちがやるものだろうという雰囲気は往々にしてあり、実際に、「一部の物好きのためのスポーツでまちづくりするなんておかしいんじゃないか」と言われたこともあります。

ですが、語源が「気晴らし、楽しみ」などとされているように、スポーツは決して球技や格闘技だけではありません。先のアジア競技大会ではトランプが正式種目になっていましたし、ダーツや百人一首かるたなどもスポーツと呼ばれ、さらに最近では e スポーツとしてコンピュータの対戦ゲームまでがスポーツと認識されています。そうなればもう何でもスポーツなんじゃないかと思えますし、であればスポーツによるまちづくりという表現は、どんな物事にも当てはまるのではとも思っています。

そんな中、私自身が思うスポーツの最大の魅力は、そこに応援する、応援されるという行為が密接に結びついているところです。応援するという事は、その対象を好きでなければできません。逆に、応援されるという事は、相手から愛されている証拠です。先日の災害時にも、応援すること、されることが大きな力になりました。

他者を愛し、うまくいくように応援すること、また応援されることで自分の価値を感じ、その応援に応えようとするのがスポーツであるなら、スポーツによるまちづくりという言葉は、とんでもなく素晴らしいものなのでは、と、少し強引ですが思っているところです。

最後に自分事で恐縮ですが、本日9月21日は私の誕生日です。いつも私のことを最大限応援してくれる両親に、昼休みになったら「ありがとう」とメールしようと思っています。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいただく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年9月25日（月）
担当者 税務課 山田 仁志

おはようございます。税務課納税担当の山田です。

今回の台風、地震被害についての対応等大変お疲れ様です。通常業務を続けながらの対応となっていますので精神的、肉体的にも厳しい戦いとなっているかと思いますが、今もなお避難所生活をしている被災者もおりますので頑張っていきたいと思います。

さて、前回スピーチを行ったのは去年の仕事納めでした。その際は、業務内容については省略しましたので少しだけお話ししたいと思います。

税務課は希望していたのに移動できなかったと言う話をよく聞きます。しかし、納税担当を希望していますという話は聞いたことがありません。

実際に税務課に移動が決まってもその後の内部会議で担当が決めます。私も4年前、徴収になったからと言われ始めはピンときませんでした。業務を行っていくうちに大変なところに来たなあとも今でも強く思います。

納税の仕事は納税相談や納期内納付できない方に対して、催告書や財産差押え予告等文書を送付しても納付、連絡がない方に対して差押えを行ったり実際に自宅まで行って捜索したりと他の課とは違った特殊な仕事です。

さらに、債権一元化も始まっていて平成32年の本格運用に向け邁進しているところです。スタッフも教育委員会経験者と納税担当の仕事しかしていない人達と個性的な若いメンバーで構成されています。これからも仲良く風通しの良い職場作りをしていきたいと思っています。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年9月26日（火）

担当者 高齢者・障がい者相談担当 五十嵐 陽子

おはようございます。高齢者・障がい者相談担当参事新任主査の五十嵐陽子です。
今日は「備え」に関連したお話をさせていただきたいと思います。

皆さんは車のガソリンは残りどのくらいのタイミングで給油されますか？

私は、メーター残り2つ、もしくは給油点灯サインがついてから入れる。というのが常でした。

9月5日、地震が起こる前日もメーターが2つであることを確認し、「明日仕事に行く前に給油すればいいか」と思い帰宅したのを覚えています。

そのあとのことは皆さんもだいたい想像がつくことと思いますが、地震による停電でガソリンスタンドは麻痺、給油可能なところには、長蛇の列ができ給油制限がかかるという事態が起きました。

結果的には翌日に給油することができ事無きを得ましたが、給付できるまでの間は、「車が停まったらどうしよう」と、不安と緊張の中で信号も電灯もない暗い道を帰ったのを覚えています。地震前日にメーターが2つであることを確認していながら、給油しなかったことへの後悔と、日々の備えの大切さを痛感しました。

さて、「備え」に関連して、皆さんは「エンディングノート」というのを聞いたことがありますか？

エンディングノートとは、これまでの人生を振り返りながら、認知症になった時は誰に財産を管理して欲しいか、病気になった時どこで最期を迎えたいか、亡くなったときはどのような葬儀をして欲しいか、思い出の品を誰に渡したいかなど、残された大切な人へ元気なうちから自分の思いを書き記し、準備しておくことで、今後の人生の在り方について考えるきっかけとするもので、「終活ノート」などとも言われ、書店でも様々な種類のものが販売されています。

相談担当では、これまで受けたご相談の中からも、このようなノート作成の必要性を感じ、今年度民間企業と協力のもと「マイエンディングノート」というものを、2,000部を作成し、概ね65歳以上の方や障がい者の方へ無料配布しております。

もし、ご自身の備えのため、ご両親の備えのためなどご興味・ご関心ある方は、ぜひ、相談担当までお声をかけていただければと思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年9月27日(木)
担当者 保険年金課 岸本 美由紀

おはようございます。保険年金課医療給付担当の岸本です。医療給付担当といっても、どんなことをしているのか、イメージが湧かない方も多いのではないのでしょうか。実は、私も担当になるまで、具体的なことは知りませんでした。

通常、私たちが保険証を持って病院に掛かったときは、医療費の3割、年齢によっては2割、1割が自己負担となります。この医療費の自己負担に対して助成をするのが医療給付担当の主な業務です。助成の対象となるのは、0歳から中学生までの子どもや、ひとり親家庭の親子、体や心に重度の障がいがある方です。

なかでも、北広島市では子どもの医療費助成に力を入れています。今年4月からは制度を拡大し、中学生の外来受診も助成対象としました。現在、多くの市町村で子育て支援を充実させていますが、中学生の外来受診までを医療費助成の対象としているのは、近隣では北広島市だけです。そのため、他の市町村から転入してきた方には驚かれたりすることもあります。

医療費を助成しているので市民の方には喜ばれることが多いのですが、なかには、心配な様子で相談に来る方もいます。家族が急に入院することになった、市役所の手続きは難しそうだななど、もし、自分が逆の立場であったら、不安な気持ちになるのは当然だと思います。医療に係る経済的な負担を減らし、少しでも市民の方の心配事を解消できるよう心掛けて、日々の業務に取り組んでいます。

健康で病気にならないのが一番ですが、万が一のときには、頼りになる存在でありたいと思っています。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年9月28日（金）

担当者 福祉課 前原 雄大

おはようございます。福祉課の前原です。私事ですが、自分には今月2歳になった娘がおり、最近によく人の真似をするようになりました。自分がふとした時に使ったふざけた言葉遣いや家の中でのダラダラした行動など、全然真似してほしくないことも当然の様に行っています。

また、娘から話しかけられた際に適切な対応をしてしまった時は、不機嫌になりしばらく話しかけられなくなってしまいます。そんな光景を目の当たりにするたび、申し訳ないことをしたなと反省しています。

こんな日々を過ごしている中で、日頃の業務に置き換えて考えた時に、ちょっとした行動や接客時などでの言葉遣い、話を聞く姿勢などが、その場の態度には表れていないだけで市民の方にも当然伝わっていることを再確認する機会になっています。基本的なことばかりですが、この意識を忘れず今後も業務に取り組んでいきたいと思っています。

生活保護の業務に携わるようになってから、7年目となりました。7年前から比べると、関係ドラマも放送されるなど生活保護に対する注目度は上がっているように感じます。全国的に生活保護受給者の数も増えていることもあり、3年前の平成27年4月からは、各自治体で生活に困っている方に対し、相談窓口が開設されています。北広島市においても、市役所正面のビル2階にきたひろしま暮らしサポートセンター「ぽると」を開設しています。知っている方もいると思いますが、生活に困っている方が居りましたら福祉課、もしくは「ぽると」にご案内していただければと思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。